

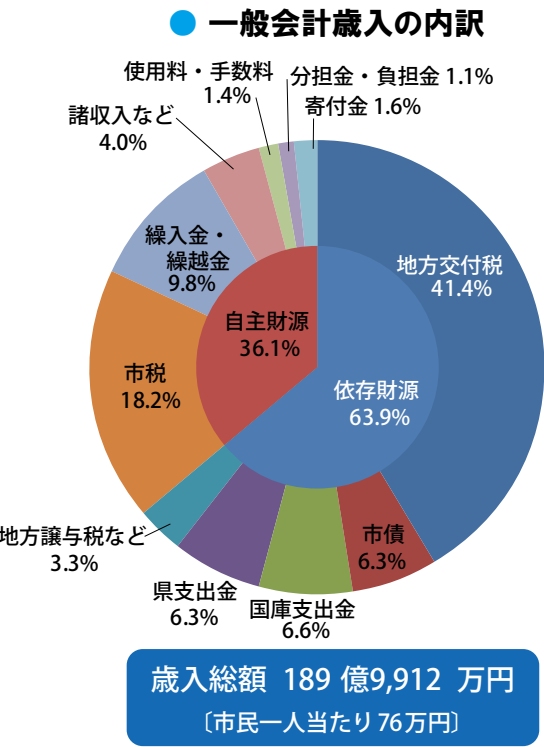
# 平成28年度 飛騨市決算報告

飛騨市の平成28年度決算が9月市議会において認定されました。

市民の皆さんから納められた市税や国・県からの支出金をどのくらい収入し、どのように使われているか、市の財政状況についてお知らせします。

| 会計区分 | 歳入決算額       | 歳出決算額       | 実質収支       |
|------|-------------|-------------|------------|
| 一般会計 | 189億9,912万円 | 178億2,798万円 | 10億9,229万円 |
| 特別会計 | 84億4,851万円  | 82億7,115万円  | 1億6,265万円  |
| 企業会計 | 23億4,973万円  | 25億6,264万円  | △2億1,291万円 |

\* 企業会計には「実質収支」という考え方がないため、歳入歳出差引額を記載しています。



| 歳入款名    | 決算額         | 構成比    | 対前年比    |
|---------|-------------|--------|---------|
| 地方交付税   | 78億6,124万円  | 41.4%  | △ 3.8%  |
| 市債      | 11億9,926万円  | 6.3%   | △ 41.3% |
| 国庫支出金   | 12億4,750万円  | 6.6%   | △ 16.0% |
| 県支出金    | 11億8,941万円  | 6.3%   | △ 7.8%  |
| 地方譲与税など | 6億3,341万円   | 3.3%   | △ 14.8% |
| 市税      | 34億6,368万円  | 18.2%  | 0.3%    |
| 繰入金・繰越金 | 18億5,848万円  | 9.8%   | 15.6%   |
| 諸収入など   | 7億6,379万円   | 4.0%   | 35.5%   |
| 使用料・手数料 | 2億6,252万円   | 1.4%   | 0.5%    |
| 分担金・負担金 | 2億1,221万円   | 1.1%   | 3.3%    |
| 寄付金     | 3億762万円     | 1.6%   | 119.2%  |
| 計       | 189億9,912万円 | 100.0% | △ 4.9%  |

## 【用語の説明】

地方交付税…………… 行政サービス水準確保のため国から交付されるお金  
市債…………… 公共事業等の財源として国などから借り入れたお金  
国庫・県支出金……… 特定の事業に対して国や県から交付されるお金  
地方譲与税など……… 国税などから一定の基準により地方に配分されるお金  
市税…………… 市民税や固定資産税など市に納める税金  
繰入金・繰越金……… 基金の取り崩し、前年度から繰り越したお金  
諸収入など…………… 財産の売却や貸付、その他の収入

\* 表・グラフは表示単位で四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

決算の概況

平成28年度は、都竹市長就任後、最初の予算編成となり、当初予算は義務的経費や継続的事業を中心とした「骨格予算」、6月補正予算で政策的経費や新規事業を反映した「肉付け予算」を編成しました。

新市政では「融和と対話」「交流と連携」「挑戦と前進」の3つの姿勢を理念に「元気であきな、誇りのもてるふるさと飛騨市」の実現を目指した予算執行に努めました。

一般会計の決算は、歳入189億9千912万円、歳出178億2千798万円となり、実質収支は10億9千229万円となり、7年連続で黒字となりました。

特別会計全体では、実質収支は1億6千265万円の黒字となりました。

企業会計の営業活動を示す収益的収支は、水道事業が1億134万円の黒字、病院事業が9千665万円の赤字となりました。

市債現在高（借金）は315億6千83万円（対前年比△24億円）、基金現在高（貯金）は152億4千803万円（対前年比+3億1千882万円）となり、将来を見据えた堅実な財政運営を行っています。

また、財政の健全性を示す財政健全化判断比率は、全ての項目で国の定める健全化基準を下回っており、良好な財政運営が行われていることを示しています。

一般会計歳入の状況

市税は、税制改正により平成28年度から軽自動車税の税率の引き上げ、また大規模償却資産の固定資産税が増加したことに伴い、0.1億円増の34億6千368万円となりました。

歳入の大半を占める地方交付税のうち、普通交付税については市町村合併にかかる特例措置が段階的に縮減されることから、3億4千788万円減の70億2千111万円。特別交付税については、豪雪による除雪経費の増加により0.4億円増の8億4千13万円でした。

県支出金は、建設事業や災害復旧事業の減少などにより、1億円減の11億8千941万円。

市債は、合併特例事業債や災害復旧事業の減少により、8億円減の11億9千926万円となりました。

繰入金・繰越金は、福祉事業基金への積み替えのため財政調整基金からの繰入などにより、25億円増の18億5千848万円となりました。

その他、ふるさと納税に対する特産品返戻制度の充実や映画ロケ地の報道による知名度向上により、がんばれふるさと応援寄付金が1.8億円増の3億682万円となりました。

今後も自主財源の確保に向けた積極的な取り組みを進めるとともに、将来にわたり健全財政を維持し、「元気で、あきな、誇りの持てる、ふるさと飛騨市」の実現に向けた取組みを推進します。

● 一般会計歳出の状況

▼ 目的別歳出

総務費は、前年度一時的に増加した統合第三セクター(株)飛騨ゆいへの出資金や財政調整基金への積み立て分が減少し、72億円減の22億7千567万円。  
教育費は、神岡図書館移転整備事業の完了等により、17億円減の10億3千107万円。  
商工費は、池ヶ原湿原遊歩道整備事業、古川町市街地観光サイン整備事業の実施などにより、13億円増の11億2千252万円。  
消防費は、消防器具庫新築事業、消防防災ヘリポート整備事業の実施などにより、0.6億円増の7億2千363万円。

▼ 性質別歳出

普通建設事業費は、飛騨市クリーンセンター復旧工事で増となる一方、宮川振興事務所、神岡振興事務所整備事業の完了に伴い減となり、全体で3.7億円減の24億330万円。  
災害復旧事業費は平成28年8月豪雨災害復旧を行ったものの、前年度より被害が少なかったことから2.5億円減の2億4千785万円。

補助費等は入園・入学祝い金やふるさと納税返礼品の充実、新規就農者確保を目的とした給付金の交付などにより、0.3億円増の14億7千570万円。  
また、維持補修費は、短期集中型の豪雪により市道除雪費が増加し、3.5億円増の5億9千753万円となりました。

| 歳出款名        | 決算額         | 構成比    | 対前年比    |
|-------------|-------------|--------|---------|
| 民生費         | 43億1,445万円  | 24.2%  | 15.3%   |
| 公債費         | 29億5,771万円  | 16.6%  | △ 1.4%  |
| 総務費         | 22億7,567万円  | 12.8%  | △ 24.0% |
| 土木費         | 24億5,597万円  | 13.8%  | △ 6.0%  |
| 衛生費         | 13億9,208万円  | 7.8%   | △ 6.8%  |
| 教育費         | 10億3,107万円  | 5.8%   | △ 13.9% |
| 農林水産業費      | 11億4,494万円  | 6.4%   | 3.1%    |
| 商工費         | 11億2,252万円  | 6.3%   | 13.7%   |
| 消防費         | 7億2,363万円   | 4.0%   | 9.9%    |
| 議会費・災害復旧費など | 4億 994万円    | 2.3%   | △ 35.0% |
| 計           | 178億2,798万円 | 100.0% | △ 3.2%  |

【用語の説明】

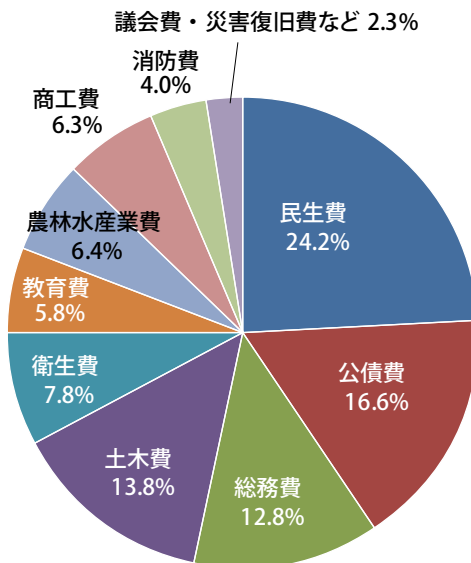
民生費……………子どもや高齢者、障がい者などの福祉対策に使われたお金  
公債費……………公共事業等の財源として借り入れたお金(市債)の返済  
総務費……………徴税や防災、戸籍など行政運営全般に関する様々なお金  
土木費……………道路や公園、市営住宅などの整備や維持管理に使われたお金  
衛生費……………健康管理やごみ・し尿処理などに使われたお金  
教育費……………小中学校の運営や文化・スポーツ活動の振興に使われたお金  
農林水産業費……………農林水産業の振興に使われたお金  
商工費……………民間企業の支援や観光振興に使われたお金

| 性質区分名     | 決算額         | 構成比    | 対前年比    |
|-----------|-------------|--------|---------|
| 人件費       | 24億3,144万円  | 13.6%  | △ 1.2%  |
| 扶助費       | 17億9,329万円  | 10.1%  | 2.0%    |
| 公債費       | 29億5,771万円  | 16.6%  | △ 0.8%  |
| 普通建設事業費   | 24億330万円    | 13.5%  | △ 13.5% |
| 災害復旧事業費   | 2億4,785万円   | 1.4%   | △ 50.4% |
| 物件費       | 25億5,020万円  | 14.3%  | △ 11.3% |
| 維持補修費     | 5億9,753万円   | 3.3%   | 144.6%  |
| 補助費等      | 14億7,570万円  | 8.3%   | 2.3%    |
| 積立金       | 9億6,757万円   | 5.4%   | 25.9%   |
| 投資・出資・貸付金 | 3億1,583万円   | 1.8%   | △ 38.8% |
| 繰出金       | 20億8,756万円  | 11.7%  | △ 0.6%  |
| 計         | 178億2,798万円 | 100.0% | △ 3.2%  |

【用語の説明】

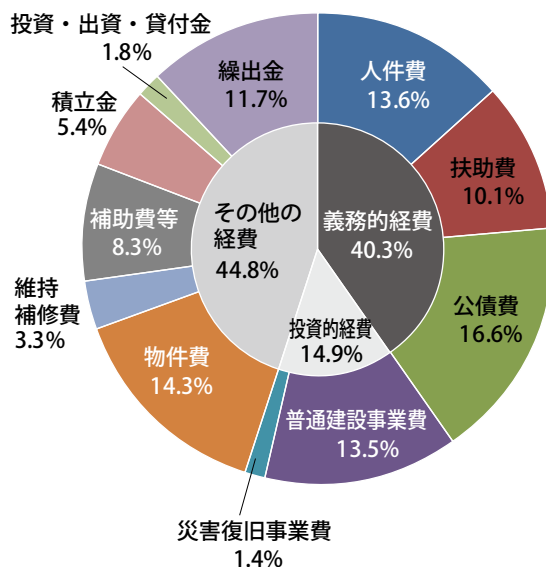
人件費……………市職員の給料・手当、議員・委員報酬など  
扶助費……………児童手当や生活保護、障がい者支援に対する給付など  
普通建設事業費……………道路や公共施設の整備費用(いわゆる「公共事業費」)  
物件費……………臨時職員の賃金、光熱水費、各種委託料など  
維持補修費……………公共施設の修繕や道路除雪費など  
補助費等……………各種団体に対する補助金や負担金など  
繰出金……………特別会計の運営に対する一般会計からの支出金など

● 一般会計歳出(目的別)の内訳



歳出総額 178 億2,798 万円  
〔市民一人当たり71万円〕

● 一般会計歳出(性質別)の内訳



● 特別会計の決算状況

| 会 計 名             | 歳入決算額      | 対前年比    | 歳出決算額      | 対前年比    | 実質収支      |
|-------------------|------------|---------|------------|---------|-----------|
| 国民健康保険特別会計        | 32億4,288万円 | △ 1.5%  | 32億 268万円  | △ 0.5%  | 4,020万円   |
| 後期高齢者医療特別会計       | 3億7,218万円  | 2.9%    | 3億7,057万円  | 2.7%    | 161万円     |
| 介護保険特別会計          | 31億4,033万円 | 2.0%    | 30億5,124万円 | 2.5%    | 8,909万円   |
| 公共下水道事業特別会計       | 8億8,020万円  | △ 10.4% | 8億6,099万円  | △ 12.0% | 985万円     |
| 特定環境保全公共下水道事業特別会計 | 1億7,683万円  | 3.4%    | 1億7,475万円  | 3.4%    | 208万円     |
| 農村下水道事業特別会計       | 3億 712万円   | △ 1.4%  | 3億 210万円   | △ 1.4%  | 502万円     |
| 個別排水処理施設事業特別会計    | 1,705万円    | △ 2.7%  | 1,600万円    | △ 3.0%  | 105万円     |
| 下水道汚泥処理事業特別会計     | 1億5,134万円  | △ 3.4%  | 1億5,133万円  | △ 3.4%  | 1万円       |
| 駐車場事業特別会計         | 611万円      | 4.3%    | 608万円      | 48.7%   | 3万円       |
| 情報施設特別会計          | 1億1,926万円  | 12.1%   | 1億 58万円    | 17.4%   | 1,333万円   |
| 給食費特別会計           | 3,521万円    | △ 4.3%  | 3,483万円    | △ 4.2%  | 38万円      |
| 計                 | 84億4,851万円 | △ 3.3%  | 82億7,115万円 | △ 3.0%  | 1億6,265万円 |

● 企業会計の決算状況

| 会 計 名               | 歳入決算額      | 対前年比    | 歳出決算額      | 対前年比    | 歳入歳出差引     |
|---------------------|------------|---------|------------|---------|------------|
| 水道事業会計（収益的収支）       | 5億8,161万円  | 87.3%   | 4億8,026万円  | 122.8%  | 1億134万円    |
| 水道事業会計（資本的収支）       | 4,986万円    | 326.5%  | 2億759万円    | 69.4%   | △1億5,773万円 |
| 国民健康保険病院事業会計（収益的収支） | 16億6,667万円 | △ 1.3%  | 17億6,332万円 | 2.9%    | △9,665万円   |
| 国民健康保険病院事業会計（資本的収支） | 5,159万円    | △ 62.9% | 1億1,147万円  | △ 48.0% | △5,988万円   |
| 計                   | 23億4,973万円 | 9.3%    | 25億6,264万円 | 13.1%   | △2億1,291万円 |

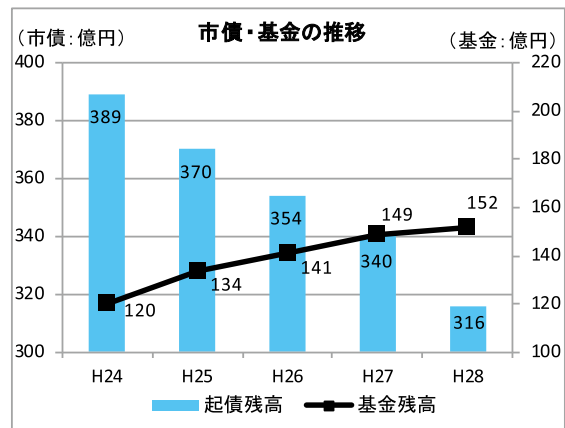
＊表示単位で四捨五入しているため、合計、差引が一致しない場合があります。

● 市債・基金年度末残高の推移

| 区分      | 市債残高(H28末)  | 区分   | 基金残高(H28末)  |
|---------|-------------|------|-------------|
| 一般会計    | 194億8,198万円 | 積立基金 | 148億2,416万円 |
| 特別・企業会計 | 120億7,885万円 | 運用基金 | 4億2,387万円   |
| 合計      | 315億6,083万円 | 合計   | 152億4,803万円 |

● 財政健全化判断比率の状況

| 財政指標名    | H28年度 | H27年度 | 早期健全化基準 | 財政再生基準 |
|----------|-------|-------|---------|--------|
| 実質赤字比率   | —%    | —%    | 13.14%  | 20.00% |
| 連結実質赤字比率 | —%    | —%    | 18.14%  | 30.00% |
| 実質公債費比率  | 13.0% | 12.7% | 25.0%   | 35.0%  |
| 将来負担比率   | —%    | —%    | 350.0%  | —%     |



【用語の説明】

特別会計……………特定の事業を行うため、一般会計とは別に設置される会計  
企業会計……………地方公営企業法の適用を受け、営利的事業を行う会計  
実質収支……………歳入歳出の差引額から翌年度に繰り越す一般財源を除いた額  
実質単年度収支………当年度の実質収支から前年度の実質収支を除き、基金の積み立てや取り崩し等を加減した額（実質的な収支を表す指標）  
収益的収支……………企業会計における日々の営業活動に関する経費とその財源  
資本的収支……………企業会計における施設・設備を整備するための経費とその財源  
市債……………建設事業等の財源となる長期の借入金（借金）  
基金……………特定の目的のために積み立てられた資金など（貯金）  
標準財政規模……………標準的に収入される一般財源の規模  
実質赤字比率……………普通会計の赤字額が標準財政規模に占める割合  
連結実質赤字比率……全会計の赤字額が標準財政規模に占める割合  
実質公債費比率……………公債費(市債の返済等)が標準財政規模に占める割合  
将来負担比率……………将来負担すべき負債(市債等)が標準財政規模に占める割合  
早期健全化基準……………国が定める財政健全度の注意水準(イエローカード)  
財政再生基準……………国が定める財政健全度の危険水準(レッドカード)

| 団体区分           | 会計区分     | 統計区分 | 財政指標の対象範囲 |
|----------------|----------|------|-----------|
| 飛騨市            | 一般会計     | 普通会計 | 実質赤字比率    |
|                | 特別会計     | 普通会計 | 連結実質赤字比率  |
|                | うち公営企業会計 | 公営事業 | 実質公債費比率   |
| 古川国府給食センター利用組合 |          |      | 将来負担比率    |
| 飛騨市土地開発公社など    |          |      |           |



▲体験型シアターイメージ図

●主要施策の実績

平成28年度に実施した主な施策とその決算額について、歳出目的別に報告します。

■議会費

▽議場等音響映像設備改修事業：4千958万円

■総務費

▽岐阜県防災情報システム整備事業負担金：1千435万円  
▽公共交通見直し事業：1億3千879万円  
▽地方公共団体情報セキュリティ強化事業：3千894万円  
▽土地の調査及び評価業務：4千405万円  
▽ふるさと納税推進事業：1億5千10万円  
▽宇宙物理学研究紹介施設整備事業：814万円  
▽鉄道対策事業：4千807万円  
▽小さなまちづくり応援事業助成金：3330万円  
▽移住・空家流動化対策事業：1千183万円  
▽薬草ビレッジ構想推進プロジェクト：387万円  
▽飛騨市ファンクラブ事業：125万円

■民生費

▽臨時福祉給付金事業：1億921万円  
▽木育ひろば設置事業：106万円

■衛生費

▽母子保健事業：1千966万円  
▽不妊・不育治療助成事業：745万円  
▽生物多様性保全対策事業：415万円  
▽飛騨市クリーンセンター火災復旧事業：1億7千759万円



▲木のおもちゃ広場

■農林水産業費

▽水田フル活用推進事業：2千724万円  
▽新規就農者応援事業：2千976万円  
▽畜産担い手育成総合整備事業：1億211万円  
▽広葉樹まじつくりの推進事業：3千329万円  
▽県営土地改良事業負担金：5千596万円  
▽土地改良事業：5千153万円  
▽林道整備事業：7千193万円

■商工費

▽企業立地促進事業助成金：3千675万円  
▽起業化促進補助金：1千211万円  
▽古川祭映像制作事業：854万円

▽観光誘客宣伝事業：1千506万円  
▽まちなか観光案内所開設事業：648万円  
▽池ヶ原湿原遊歩道整備事業：5千688万円  
▽映画「君の名は。」関連事業：883万円  
▽観光施設改修工事：5千477万円  
▽古川町中心市街地観光サイン整備事業：5千288万円



▲池ヶ原湿原

■土木費

▽市道除雪事業：5億4千155万円  
▽市単道路新設改良事業：1億4千709万円  
▽社会資本整備総合交付金事業（道路）：1億6千920万円  
▽道整備交付金事業：1億3千905万円

▽社会資本整備総合交付金事業（橋梁）：1億3千765万円  
▽都市再生整備計画事業（東町交流広場整備事業ほか）：5千40万円  
▽住宅対策臨時事業：2千322万円  
▽住宅・建築物安全ストック形成事業（神岡振興事務所セキリテイ対策事業ほか）：1千649万円



▲神岡町消防防災ヘリポート

■消防費

▽上野消防器庫新築事業：1千683万円  
▽消防防災ヘリポート建設事業：3千42万円  
▽小型ポンプ積載車・小型動力ポンプ更新事業：2千72万円

■教育費

▽スクールバス購入：1千728万円  
▽ふるさと教育事業：441万円  
▽スポーツ推進事業：830万円  
▽ユネスコ無形文化遺産登録推進事業：794万円  
▽「君の名は。」企画展開催事業：810万円

■災害復旧費

▽農林水産業施設災害復旧費：1億375万円  
▽公共土木施設災害復旧費：1億3千783万円

●監査意見総括

本市の財政は、健全傾向は維持されているが、依存財源の率は63.8%となっている。財政調整基金を有効に活用することも考えながら、今後も国の交付税制度等の動向を見逃すことなく、健全かつ公正な財政運営に取り組み、そのことを強く望むものである。



意見書を都竹市長へ提出する  
福田幸博代表監査委員と洞口和彦議会選出監査委員